

<日時>

平成29年3月30日（木） 10:30～12:00

<場所>

大阪府庁本館5階 正庁の間

<検討事項にかかる主な意見>

テーマ	主な意見
◆ 制度設計	・収益の地元への利益還元について、どういった分野や方法で使うのかなどの議論を行い、<u>地元とIRとの共存関係の構築を図るべき。</u> ・入場料の設定にあたっては、どのような理由で、その収入をどう使うか、根本的な考え方が必要。
◆ 施設機能	・世界的に見て大規模なMICE施設が日本国内にはないため、絶対に必要。 ・MICE施設とビジネスゾーン施設は離れすぎないようにするのが望ましい。 ・万博や大阪観光局の大阪MICE推進委員会、うめきた2期等との連携が重要。 ・夢洲の想定土地面積のばらつきに見られるように、<u>IRの基本的な情報の再確認、共有化が必要。</u>
◆ 依存症対策 （青少年の健全育成含む）	・<u>依存症対策は段階レベルに応じて、国や地方、その他関係機関等で役割分担のうえ対策が必要。</u> ・カジノにかかる依存症の知見について、大半は海外からのもので日本にもあてはまるかは不明なため、新たな研究が必要。 ・<u>ギャンブル等依存症は、薬物やアルコールなど別の依存症と共依存することが多く、対策時に配慮が必要。</u> ・依存症にかかる啓発活動や一次予防（発生を防ぐ）がこの推進会議のメインで、発生後の治療や社会復帰等は、IRを超えた広い視点で対応するべき。
◆ 治安対策 （暴力団排除含む）	・カジノはエリアや利用者が限られているため、他の依存症とは違ったアプローチで効果的な対策や犯罪抑止も可能。
◆ 府民理解の促進	・<u>カジノ・IRにどういった便益や公益性があるか、プラスマイナス含めた議論や整理が必要。</u>
◆ その他	・<u>推進会議で、いつまでにアウトプットを出す必要があるかなど、スケジュールを教えて欲しい。</u> ・開発条件の基本的な方針を、早期に行政から提示すべきではないか。 ・<u>国の動向をIR推進局でキャッチアップしていくことが必要。</u>